

本庄南ロータリークラブ

会報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00
 例会場 埼玉グランドホテル本庄
 事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-004本庄市駅南2-2-1
 Tel : 0495-23-0141 / Fax : 0495-23-0141
 E-mail : rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 矢部 一臣 会報広報委員会 / 委員長 飯塚能成
 幹事 星野 栄一 / 委員 木村真純 堀川 明



第69回例会 7月22日(火) 発行 平成20年7月29日

司会 / 奈良橋秋夫 SAA
 点鐘 / 19時00分 矢部一臣会長
 ソング / 我等の生業
 ゲスト / 埼玉県乳幼児子育て電話相談員 山岡 久子 様
 埼玉県教育局市町村支援部
 生涯学習文化財課 主任社会教育主事 大塚 茂穂 様
 米山奨学生 早稲田大学大学院国際情報通信研究科
 博士課程 金 相賢 様

会長挨拶

矢部一臣 会長



ロータリーの綱領

Object of Rotary

皆様、こんばんは、山岡様、大塚様、金様、本日は、当クラブの例会へようこそ、お出で下さいました。ありがとうございます。

本日は、私がいつも『本庄健走会』という健康を目指してマラソンを楽しんでいる会で大変にお世話になっている山岡久子先生から卓話を頂くことになっています。教員を始め様々な教育関係の現場に長くかかわってきた先生の実体験から色々な生の声を伺いたいと思います。

さて、本日の会長挨拶のテーマは、[ロータリーの綱領]です。

[ロータリーの綱領]はその原文が Object of Rotary であることから分かるように、ロータリーの目的そのものであると考える必要があります。ロータリーの綱領を受諾し、定款・細則を遵守することを誓約した人だけが、ロータリアンとしての特権が与えられ、いかなる理由があるうとも、そのことを知らなかったとか、そのことが書かれた印刷物を受け取っていないという言い訳は認められない、綱領受諾を条件に入会を認めると言うこの取り決めは、おそらく他の団体にはないロータリークラブ独特の方法かも知れません。

ロータリーの綱領 (Object of Rotary) は、次のとおりです。

ロータリーの綱領

・ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにあります。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。

第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

綱領の変遷 …… 親睦から、親睦と奉仕へ

1906年1月、シカゴ・クラブ定款が初めて制定された時点では、まだ綱領は存在しておらず、僅か二箇条に纏められた定款そのものが、ロータリーの目的を表わすと共に、綱領の役目を兼ねていました。

< 1906年 シカゴ・クラブ定款 >

1. 本クラブ会員の事業上の利益の増大
2. 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進

定款の内容は会員の利益向上と親睦を謳い上げたものであり、利益向上の手段としてもっぱら推奨されていた方法は、会員同士の物質的相互扶助でした。

< 1906年 シカゴ・クラブ定款 >

1. 本クラブ会員の事業上の利益の増大
2. 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進
定款の内容は会員の利益向上と親睦を謳い上げたものであり、利益向上の手段としてもっぱら推奨されていた方法は、会員同士の物質的相互扶助でした。

1906年 5月、新入会員ドナルド・カーターによって、このエゴイズムに満ちた定款に、始めて、ささやかな奉仕の概念が導入されました。彼の提言が受け入れられて、1906年 12月に第3条が追加されますが、その後続々と創立されたシカゴ以外のクラブは、第3条の「シカゴ市」の部分それぞれのテリトリーを表す市名に置き換え、他の部分はほぼそのままの形で使っていました。

< 1906年 12月改正 シカゴ・クラブ定款 >

1. 本クラブ会員の事業上の利益の増大
2. 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進
3. シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める
その後、幾多の変遷を経て、

195年に開催されたアトランティック・シティ大会において、国際ロータリーおよび標準ロータリークラブ定款が改正され、Objects of Rotary が Object of Rotary に改められ、従来の四ヶ条の綱領が一ヶ条の本文と四つの付随項目となって、現在と全く同じ綱領に変更され、今日に至っています。

利己的な組織に永続性は無い。

1905年に会員間の相互扶助を目的として誕生したクラブは、翌年には会員以外の人々の利益を考えるとになりました。

今日 100年を超えて、永続するクラブとして生き残っているのは、ドナルド・カーターによって、会員以外の利益、奉仕の概念の導入によるものです。

奉仕の理想 …… Ideal of service

ロータリーの綱領には、奉仕の理想という言葉が使われています。ロータリーの公式文献でこれをはっきり定義している文章はないといわれています。

私は、奉仕の理想 (Ideal of service) を過日 (於 2008.07.19. RI2570地区奉仕プロジェクト 邸会セミナー)、RI直前理事の重田政信氏の基調講演を拝聴してから「他人に対する思いやりの心」と「他人のためになること」と理解しています。

ロータリーの綱領の新しい翻訳 ……ロータリーの根幹は、職業奉仕

[ロータリーの綱領] は四条から成り立っていて、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕について述べられていると解している人がいるようですが、綱領が Objectsではなく Objectと単数であることから、目的はただ一つ、すなわち「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成することにある」のであって、それ以降の四項目は、目的を達成するための付帯事項ないしは説明であることに留意しなければなりません。これが、ロータリーの根幹は、職業奉仕にあるといわれる根拠でもある。というのが、新しい翻訳のようです。

(CF. <http://www.tanaka-library.com/0202jp.htm>)

幹事報告

星野栄一 幹事



青少年交換留学生募集案内が来ております。将来を有望される学生を海外の生徒達と交流させてこれからの優秀な人材の育成に協力したいと思っておりますので推薦よろしくお願ひします。

本日卓話の山岡久子先生お話しの方は子供達の教育に一番関心のある問題だと思います。有意義な卓話でしたので、今後この様なお話の機会を数多く取り入れたいと思っております。

ゲスト挨拶



埼玉県教育局市町村支援部
生涯学習文化財課
主任社会教育主事
大塚 茂穂 様

こんばんは、本日は、皆様の教育問題に関する卓話に参加させて頂きます。よろしく、お願ひします。



米山奨学生
早稲田大学大学院
国際情報通信研究科
博士課程 金 相賢 様

こんばんは、奨学金を頂き、ありがとうございます。

情報通信に関して、デジタル面ばかりでなく、アナログ面、人の健康面など多角的な面からの考察もしながら研究をしたいと考えています。

卓話



埼玉県乳幼児子育て
電話相談員 山岡 久子 様

幾つものキーワードで語られる少年 A は本年 26歳。関東医療少年院出院後、社会適応生活を保護観察下に送ると伝え聞く。

事の発生 (1997) 以来 1年を経た今日、数多の情報が公開され中でも、両親の手で明かす成育の記録、審判課程や鑑定資料及び元法務教官の手になる贖罪教育・矯正教育の記録等は長年待ち望まれたものである。

A は待ち望まれて誕生、先を見越した普通より早めの躰、10か月で離乳、1年 4か月後には弟の誕生、3年 2か月後には 3男誕生と続き A の環境は激変する。

母子密着期間の短さ、この間の A の疎外感等が A の感受性と相俟って孤独感を抱いたまま成長、その後的人格形成に大きく作用したとみられる。母親の記録には弟を苛める A への手厳しい対応が明確に記されている。

元法務教官の著書、贖罪・矯正教育の記録は少年Aの中の『S人格』誕生過程の追求と少年Aの乳幼児期を取り戻すための過程の詳細である。

また、精神鑑定書を通して、少年Aが「直感像素質者」であると両親に明かされる。

教職経験を通して視覚的記憶力の強い児童に出会っている。相手は感受性鋭敏、対人感覚繊細、集団適応困難等で辛さを抱えていて、その辛さを共感する関係の保持に苦慮した記憶がある。

直感像素質から異能の画家とよばれる伊藤若冲を連想する。生い立ち不明ながら、京都町衆と呼ばれるブルジョアの跡取り。世間並みには何も出来ない、20代後半から絵を学び、財に任せた珍しい動植物収集、写生三昧。精緻、華麗、時に鬼気が画業を通して今日に伝わる。

賜ったものに直すら己が生を捧げ尽くした先人の画業の前に多くの人が息を呑む思いで立つ。

核家族、少子化、格差、子どもの未来不透明の中、完全主義をかざして頑張る母親は絶えないが多くの母親は穏やかで常識的な子育てに向かっている。子育ての支えとして期待されるのが地域の力、地域の教育力であると常に声高に叫ばれている。具体的には何か。深みと広がりや暖かみを持つ『関心』であると少年Aの事例は訴える。

出席報告

松島雄二 出席委員長

会員数	出席	M	U	欠席	出席率
22名	15名	5名		2名	90%

例会予定

プログラム通り

ニコニコボックス

福島好正 会員

山岡久子先生、勉強になる卓話をありがとうございました。

矢部一臣 会員

山岡久子先生、大塚茂穂様、金相賢様、本日はようこそ、お出でくださいました。